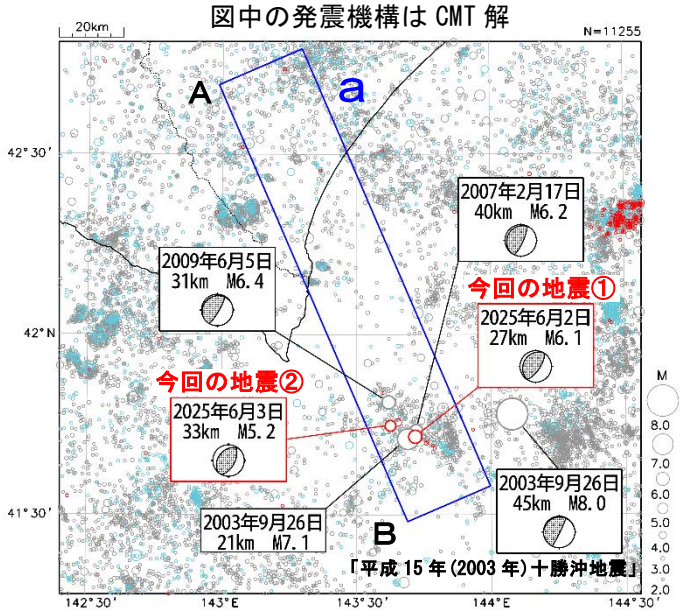
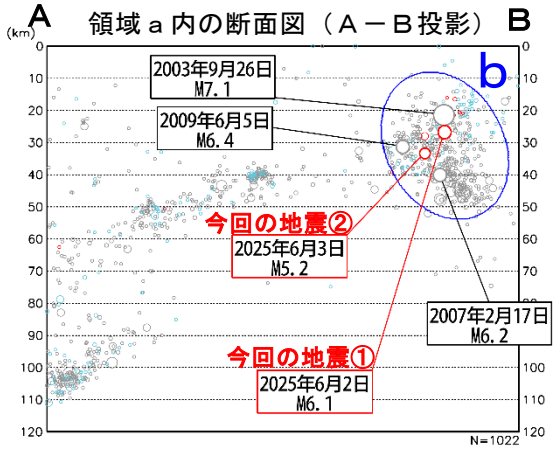
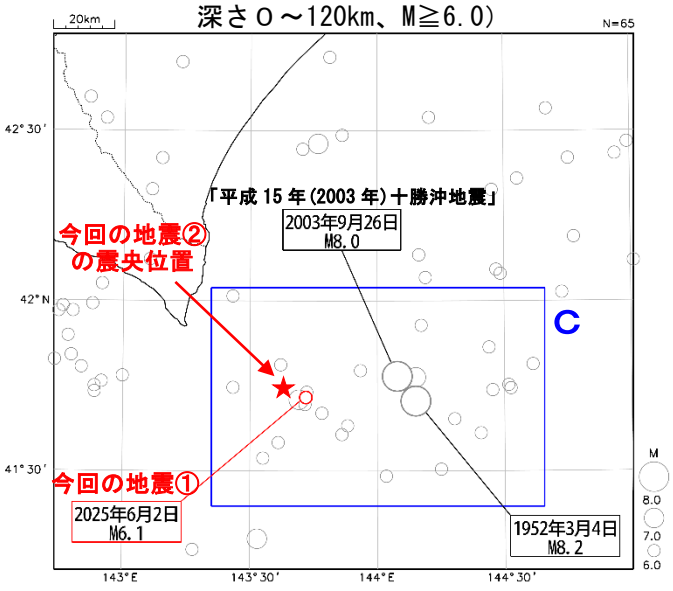
６月２日、３日　十勝沖の地震

震央分布図
（2001 年 10 月１日～2025 年６月 30 日、
深さ０～120km、M≧2.0）
2020 年９月以降に発生した地震を水色、
2025 年６月に発生した地震を赤色で表示
図中の発震機構は CMT 解





震央分布図
（1919 年１月１日～2025 年６月 30 日、
深さ０～120km、M≧6.0）

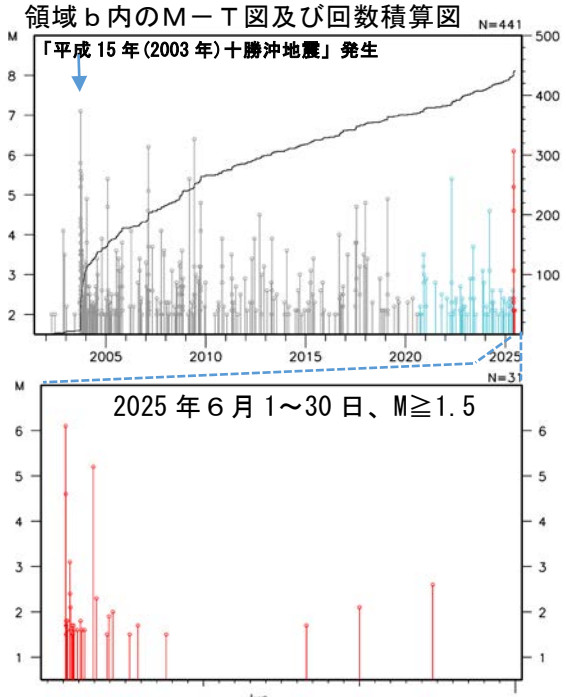
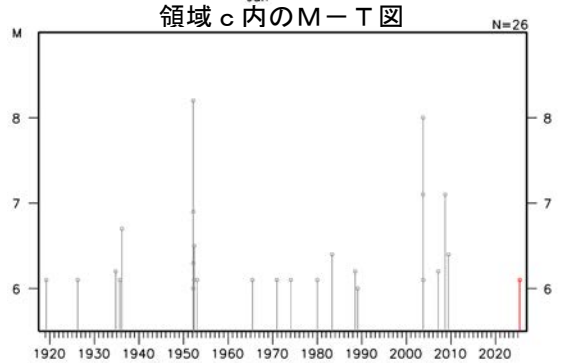


2025年６月２日03時51分に十勝沖の深さ27kmでM6.1の地震（最大震度４、図中①）が、６月３日22時18分にはほぼ同じ場所の深さ33kmでM5.2の地震（最大震度３、図中②）が発生した。これらの地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）では、2003年９月26日に「平成15年（2003年）十勝沖地震」の最大余震であるM7.1の地震（最大震度６弱）が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、M8.0以上の地震が２回発生しており、「平成15年（2003年）十勝沖地震」（M8.0、最大震度６弱）では、北海道十勝港で255cmの津波を観測するなど、北海道から四国地方にかけての太平洋沿岸などで津波を観測した。また、死者・行方不明２人、重軽傷者849人、住家被害2,073棟などの被害が生じた。（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



領域ｃ内のＭ－Ｔ図